

週間漁海況情報 2021年第5号

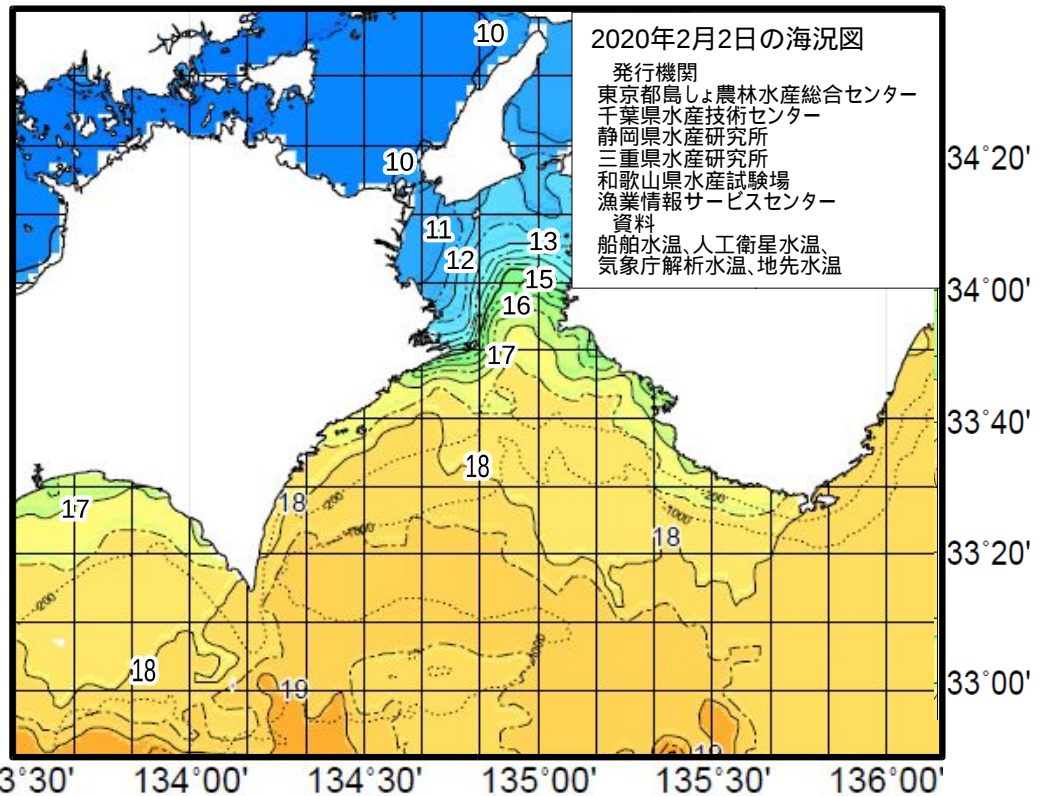
令和3年2月2日発行

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖42マイル、潮岬沖73マイルを流れ、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「離岸」となっている。黒潮から海部沿岸下灘に18 台の暖水が差し込んでいる。また、紀伊水道和歌山県側へ15 前後の暖水が差し込んでいる。黒潮の表面水温は19～20 台。徳島周辺海域の水温は、播磨灘は9～10 台、紀伊水道は10～14 台、海部沿岸は15～18 台となった。



黒潮の離接岸の表現

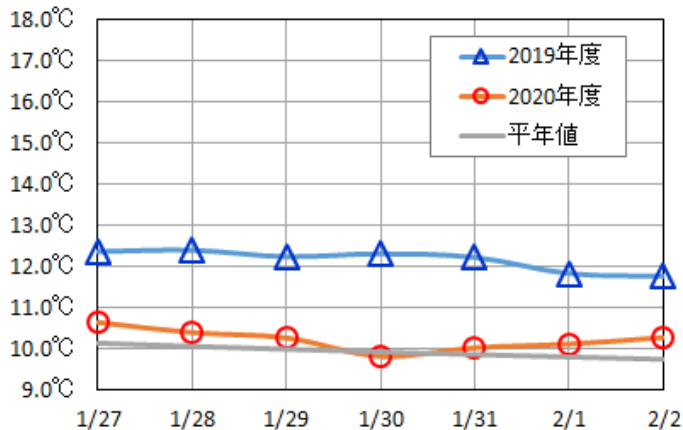
(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25～45NM 離岸: 45～65NM 著しく離岸: 65NM～
潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26～56NM 離岸: 56～86NM 著しく離岸: 86NM～

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

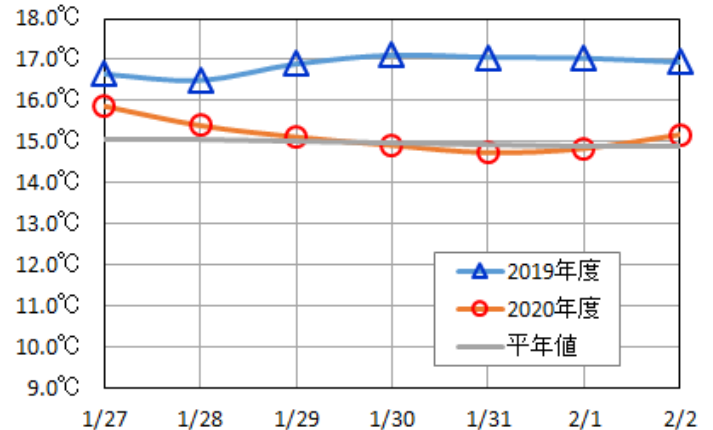
2. 地先水温 (2021年1月27日～2月2日)

鳴門地区の水温は「平年並み」から「やや高め」の、9.8～10.6 で推移した。日和佐地区の水温は黒潮からの暖水波及の変化により「やや高め」から「平年並み」の14.7～15.9 で推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は4.7～5.2 に縮小している。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並み: 平年値 ± 0.5 未満, やや高め/やや低め: 平年値 ± 0.5 以上 1.5 未満
高め/低め: 平年値 ± 1.5 以上 2.5 未満, かなり高め/かなり低め: ± 2.5 以上
平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報 (2月3日～2月9日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」から「離岸」、潮岬沖で「離岸」から「著しい離岸」で推移する見込み。
地先水温は、鳴門地区、日和佐地区ともに「平年並み」から「やや高め」で推移する見込み。

漁況 2021年1月25日～1月31日

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

釣りでは、タチウオが増えて0.3ト水揚げされた。
 延縄では、タチウオが増えて0.9ト、ブリが減ってメジロ級主体に0.3ト水揚げされた。
 小型定置網では、マアジが減って0.6ト水揚げされた。
 底びき網では、シリヤケイカが大きく減って2.3ト、コウイカが大きく増えて大主体に0.7ト、マダイが大きく増えて0.3ト、マナガツオが大きく減って小主体に0.2ト、さめ類が大きく増えて0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、タチウオが増えて6.1ト、カツオが大きく減って中主体に2.7ト水揚げされた。
 小型定置網では、マルアジが大きく増えて小小主体に8.8ト、メジナが増えて中主体に2.5ト、すずき類が増えて0.2ト水揚げされた。
 大型定置網では、マサバが大きく減って小小主体に1.3ト、マアジが大きく減って小小主体に0.4ト、シイラが大きく減って0.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	釣り	5	タチウオ	335	67		
		延縄	27	タチウオ	861	32	
	13		ブリ	318	24	メジロ級主体	
	小型定置網	11	マアジ	576	52		
	底びき網	29	シリヤケイカ	2,346	81		
		31	コウイカ	684	22	大主体	
		25	マダイ	278	11		
		27	マナガツオ	216	8	小主体	
		6	さめ類	200	33		
	海部沿岸	釣り	46	タチウオ	6,059	132	
49			カツオ	2,650	54	中主体	
小型定置網		9	マルアジ	8,802	978	小小主体	
		11	メジナ	2,466	224	中主体	
		17	すずき類	216	13		
大型定置網		1	マサバ	1,335	1,335	小小主体	
			マアジ	364	364	小小主体	
			シイラ	273	273		

前週比 200%以上： 120-200%： 80-120%： 50-80%： 50%未満：